

実施報告

北見市立美山小学校

*学級数 18 *児童数 491

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道北見緑陵高等学校	教諭	高田 真也	物理

【本事業のねらい】

小学校第6学年の1月～2月の指導計画に位置付けられている「電気の利用」の単元について研修を実施し、研修成果を授業実践に生かすことができるようにした。

また、本校は理科専科の教員配置があり、理科の指導を担当しない教員が多いため、本研修支援事業を活用して、個々の教員の指導力向上を図ることとした。

【実施内容】

1月31日 14:30～15:30、北見市立美山小学校第1理科室において、25名の教員を対象に、研修を実施した。第6学年「電気のはたらき」の単元における学習内容や使用する実験器具を確認した上で、単元の目標を達成するための効果的な指導方法や実験の方法を学んだ。



【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・実験に興味をもって取り組むことができ、学ぶことの楽しさを実感した研修でした。専門的な知識や技能を身に付けた教師が教えれば、子どもが熱中して取り組む授業になることを改めて感じました。
- ・理科の授業を担当したことがなく、どのような実験を行えばよいか分からなかったのですが、今回の研修で様々な実験の手法を学ぶことができ、大変勉強になりました。
- ・身近にある紙コップ等が、あっという間に実験道具に変わるなどのアイデアをたくさんいただきました。研修の中にたくさんの驚きがありました。
- ・自校にある実験用具を使って、このような楽しい実験ができることを知りました。実験を通して、理科の面白さや不思議さを実感しました。

【来年度以降の実施に向けて】

参加者アンケートからも、大変有意義な内容の研修となった。「水溶液の性質」や今回の「電気の利用」など、実験が難しい単元の内容について研修する機会を設定することにより、個々の教員の指導力の向上につながると考える。